



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 消化器内科 金 允泰

【研究責任者】

聖路加国際病院 消化器内科 金 允泰

グラム陽性球菌血症を伴う急性胆管炎で内視鏡的治療を行った方を対象とした抗菌薬の投与期間に関する研究

1.研究の対象

2003年7月22日から2023年12月31日までに、グラム陽性球菌血症を伴う急性胆管炎でERCP（内視鏡的治療を行った逆行性胆管膵管造影）を受けられた方。

2.研究の目的・方法

現在ガイドラインでは、グラム陽性球菌血症を伴う急性胆管炎に対して14日間の抗菌薬による治療を提案されていますが、14日間である根拠は乏しく、実際の医療現場での治療期間とも乖離している状況です。今回グラム陽性球菌血症を伴う急性胆管炎の治療期間について調査することで、適切な治療期間を明らかにすることを目的としております。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2025年3月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2024年5月7日を予定しております。

3.研究に用いる試料・情報の種類

・主なデータ項目は以下となります。

《情報》 病歴、既往歴、ERCPの詳細、抗菌薬の治療期間、カルテ番号 等